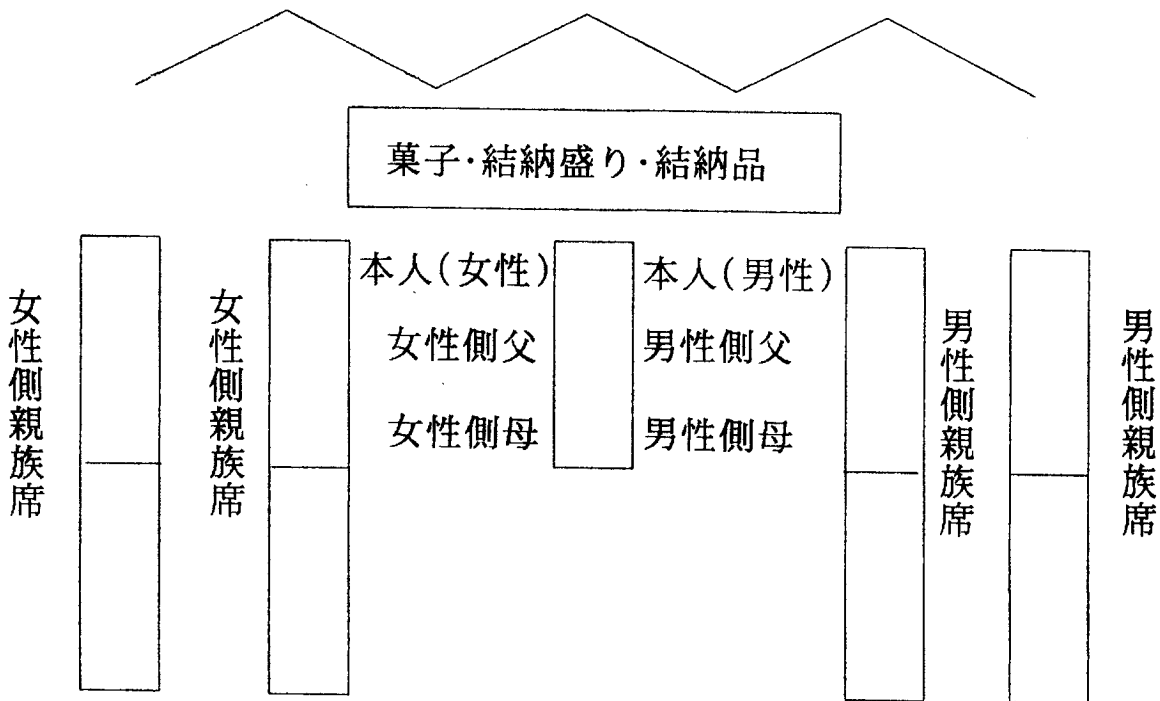


〔結納品の種類〕

- 目録 ・ 結納品の品名と数を簡条書きにした送り状
- 長熨斗 ・ 結納品の熨斗としてつける習慣があります。
- 金包 ・ 結納金を包みます。
- 勝男節 ・ 男節、女節で組み合わせて一心同体で末長く。
- 素留女 ・ するめの手のように、子孫繁栄を願うものです。
- 子生夫 ・ 子宝に恵まれ、壮健・子孫繁栄を願うものです。
- 友白髪 ・ 夫婦仲睦まじく、共に白髪になるまでと願うものです。
- 末広 ・ 末広がりな繁栄を願って、夫婦扇を入れます。
- 家内喜多留 ・ 泡盛で契り盃を結び、家内円満をねがいます。

〔祝いのお菓子〕

- サーターアンダギー (女性を表します。)
片方が割れて開くので、縁起の良い揚げ菓子
- 片ハラウンブー (男性を表します。)
子孫繁栄を祈願して納める揚げ物 (天麩羅) で、大きいほど喜ばれています。
- 松風
赤いセンベイの揚げ菓子で、二人の縁を結ぶよう「結びきり」の型をしています。



- ☆ 結納金 ☆ 男性の収入に応じて決める。一般的には男性の月収の2～3ヶ月分が適当
- ☆ 結納返し ☆ 結納の日から3日後 例：日曜日結納→火曜日
結納品を納めた時の料理の器などを返す。
お返しの品は、特別の決まりはありません。
- ☆ 器の返品 ☆ 三和の方へ結納盛りのお盆と風呂敷をお返し下さい。

御結納式後のお食事会

- ・司会者は、身内の方からお出し下さい。
- ・お子様も含めて、皆様の席を前もってお決め下さい
- ・お食事会は、1時間～1時間30分がよろしいとおもわれます。

◇司会者

只今より〇〇家〇〇家の食事会を開宴致します。

私は、本日の司会をさせて頂きます(例：新郎のおじ)に当たります〇〇と申します。

早速ではございますが、乾杯を行いたいと思います。皆様乾杯のご用意をお願い致します。

乾杯の音頭をとって下さいますのは(例：新婦のおじ)に当たります〇〇様でございます。

宜しくお願い致します。

◇乾杯の発声者

本日は・・・

「乾杯」～

◇司会者

〇〇様どうもありがとうございました。これからしばらくは、お食事を取りながらご歓談の時間とさせて頂きます。

～ご歓談～

食事が落ち着きましたら男性側から親族紹介を行います。

◇司会者

ここで、御両家の親族紹介をお願い致します。

それでは〇〇家(男性家)からお願い致します。

◇男性側の代表の紹介者(〇〇様)

それでは〇〇家の紹介を致します。

☆まず初めに 私は(例：新郎の父方の長男)に当たります〇〇でございます。

<本人・本人のご両親から紹介して頂き続いて近い身内の方、又は席順等で自由に紹介して下さい。>

◇司会者

〇〇様ありがとうございました。

続きまして〇〇家(女性家)の紹介をお願い致します。

◇女性家の代表の紹介者(〇〇様)

☆同文

◇司会者

〇〇様ありがとうございました。それでは引き続きご歓談をお楽しみ下さい。

～ご歓談～

◇司会者

宴もたけなわではございますが、締め(新郎又は新郎新婦)より謝辞を頂きたいと思っております

◇新郎＝謝辞・・・

◇司会者

それではこれもちまして〇〇家〇〇家のお食事会をお開きとさせて頂きます。

司会者	家	様	乾杯の音頭	家	様
男性側の親族紹介			女性側の親族紹介		